

令和元年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工業高等学校

項目担当	本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導の充実を図る。 ・生徒個々の能力の向上を図る。 ・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 ・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行う。 	
	重点目標	具体的方策	中間評価
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と家庭の連携を深める。 ・儀式的行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA委員会の活性化を図る。 ・e-メッセージを積極的に活用する。 ・全職員の協体制を整え、儀式的行事に取り組む。 ・生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭では、保護者の観戦が昨年より増加した。 ・PTA登校指導では、保護者の参加が昨年より増加した。 ・文化祭に向けPTA役員、委員を中心にPTA企画の計画を進めている。 ・儀式的行事に対して、職員、生徒ともに落ち着いた雰囲気を取り組んでいる。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学力を向上させる。 ・広報活動の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫・改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 ・授業を大切にす。 (授業規律、成績不振者指導等) ・中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の成績不振者に対し、追試補習の事前指導を実施した。 ・基礎学力を高める方策について話し合いを重ねた。 ・中学校で実施の進路説明会7校、卒業生の話聞く会へ生徒の派遣3校、運営委員による中学校の訪問などを実施した。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 ・安全・安心な学校生活の実現。 ・いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校門指導で挨拶の励行を行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 ・講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止と減少に努める。 ・生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 ・情報を職員間で共有し、いじめ対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が自ら挨拶をするが、元気に挨拶ができる様に指導を続ける。 ・夏季休業中の身だしなみに課題があった。 ・生活アンケートの結果から、日常生活では多くの生徒が充実した生活を送っている。 ・交通安全講話を実施し交通安全の意識を高めたが、登下校での課題が数件あった。 ・服薬講話・情報モラル講話・薬物乱用防止講話を実施し、安全やモラルに意識を持てるよう指導した。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚を図る。 ・進路校内選考基準の見直しについて、引き続き検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばせるように援助する。 ・進路選考の申し合わせ事項の見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識を持たせるため、オリエンテーション、進路講話、OB講話等を行った。3年生の進路希望調査は7月の最終希望調査までに3回の予備調査を行った。 ・求人数に恵まれた状況下での進路選考であったため、大きな問題がなかった。「高校生のための学びの基礎診断」制度の利活用についても考慮して進める。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> ・健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活を送れるようにする。 ・日常の清掃に積極的に取り組み、整備され、落ち着いた学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、各学科相談係と連携し、教育相談体制の充実を図る。 ・清掃を毎日全員で実施し、環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診の日数が少なくなったが、順調に行うことができた。熱中症についての保健講話を行い注意喚起した。 ・SC、相談係、担任等との連携が図れている。 ・積極的に清掃・環境美化に取り組んでいる。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 ・個人情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ・ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 ・「KO-GYO-Times」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 ・セキュリティの向上を行う。 ・クラウドやSNSの活用を検討し、それらを本校ホームページの活性化に役立てる。 ・学校ホームページの情報を補完し、中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回「図書館だより」を発行し、生徒に読書を勧めたり、図書館の利用を呼びかけたりした。 ・ネットワークハードディスクを更新し、セキュリティソフトを導入した。 ・本校ホームページを大規模リニューアルをするため、外部企業と連携して制作を進めている。 ・第10号、第11号を発行し、中学校訪問等で配布する資料の1つとした。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実を図る。 ・ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 ・ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の体育祭は、生徒の要望にあったクラス全員参加の種目、台風の目を実施した。多くの生徒が楽しめたことはよかった。 ・半田市協賛の530運動に有志で10名の参加希望者が集まり(全体で23名参加)、半田市主催の夏休みボランティアにも6名の希望者が集まっている。昨年度に比べて、多くの参加者が集まっている。特に1年生、3年生の希望者が多い。引き続き、ボランティアの募集を行っていく。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得を通して自ら学び、生徒の個々の能力を高める。 ・開かれた学校づくりを目指して、地域イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に資格取得の勉強をし自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。 ・地域連携授業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半田市教育委員会主催の市民講座「サマーアタック2019」のLED工作教室を行ったが定員を超える応募があり多くの小中学生に参加いただいた。

	重点目標	具体的方策	中間評価
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味と関心を深め、学習や進路に対する積極的な姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学習を始めとし、進路を意識した資格取得や技能検定および競技会へ積極的に取り組ませる。 外部との連携を深めることで、キャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 前期の旋盤技能検定の実施、総合競技大会の機械製図で団体、個人ともに優勝することができた。多くの生徒が資格取得に積極的に取り組んでいる。 夏休みに行われたインターンシップやクラフトマンⅢにも参加し企業からも好評を得た。 課題研究で地域交流をテーマとして活動したグループや、ボランティアとして参加した生徒らで地域との連携を深めることができた。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 平素の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 部活動や各種競技大会などに積極的に参加できる環境を整える。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の中間考査、期末考査とも多くの生徒が熱心に学習をし、良い成果が得られた。 実習前の点呼において声だしを実施し、コミュニケーション能力を向上させた。 競技大会やサマーアタック、あいち技能五輪・アビリンピック2019大会100日前イベントなどに積極的に生徒が参加し、地域社会と協力できる場となった。
土木科	<ul style="list-style-type: none"> 学科への興味と関心を深め、学習や進路に対する積極的な姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 土木への興味と関心を深めさせ、各種資格取得・競技大会へ積極的に参加し、生徒の達成感を養う。 建設業界など外部との連携を深め、キャリア教育の推進を図る。 地域の行事・活動に参加することで、公共性を身に付けさせる。 コミュニケーション能力を向上させるため、挨拶や正しい言葉遣いを日頃から指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月の総合競技大会では、選手はよく練習し頑張ったが残念ながら入賞を逃し東海大会へ進むことができなかった。 出前授業ではクレーンの操作を体験し、また地上式仮配管の設置を体験することができ、土木業界への魅力を感じることもできた。 土木製図技能検定では30名が合格した。 測量士補試験では1名が合格した。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立。 進路実現に向けた意識の高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを身に付け、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。 身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。 現場見学会・出前授業・インターンシップ・職業指導講話・面談などを通して、早期に目標を設定する意識を持たせ、社会人としての勤労意欲の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席・早退については、だいたい良い。 身だしなみ、挨拶、言葉遣い等についても以前より良くなってきている。さらに良くなるよう引き続き指導をしていきたい。 1学期に職業指導講話および面談等を行った。また、夏休み中にインターンシップを行い、進路実現に向けての意識が高まった。 2学期には出前授業と現場見学会等を行い各学年進路意識の高揚を図っていききたい。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立や日常のマナーを身に付けさせるとともにコミュニケーション能力の向上を図る。 1年次より進路を意識した目標設定を促し、学習への取り組み姿勢を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・早退・欠席をしないことの大切さや、挨拶・言葉遣い・協調性・身だしなみなどを、学年会や関係分掌と連絡を取り合いながら学校生活のあらゆる場面で指導する。 HR・LT活動・学年集会などを活用し、目標設定や目標達成のための支援を行う。また、各教科や学科と連携をはかり、授業に臨む態度・心構えを理解させ、提出物・課題が遅延することなく提出できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣については、ほとんどの生徒が身に付けつつあるが、自らあいさつができない生徒や言葉遣いがきちんとできない生徒、身だしなみの継続的な指導が必要な生徒がいるため、引き続き指導していく。 1学期は目標を持って取り組む姿勢を身に付けさせるため、計算技術検定試験3級の資格取得に向けて支援した。2学期も資格取得指導を、学年全体で取り組んでいく。 2学期には進路ガイダンスを行い、進路意識の高揚を図っていく。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えて行動する能力の確立。 進路に対する意識の高揚を図り、具体的な目標をはっきりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告、連絡、相談が自分で考えてきちんとでき、適切な行動がとれるように学年会、各科、各分掌と連絡を密にしてきめ細かい指導を行う。 LTやST、進路指導室の活用等を通し、主体的に進路選択できるように指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思っていることを、きちんと自分の言葉で伝えることができる生徒が増えてきたが、これまでの指導を根気よく継続していく。 学年集会や保護者会を通じ今年の求人状況などを連絡した。後期も進路について話題にする機会を多くし、意識を高める指導を行っていく。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力・適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるようにする。 社会人としてのモラル、マナーをしっかりと身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> LTや個人面談を活用し、個々の進路希望についてよく確認する。 日常生活指導により、社会人として必要なモラル、マナーを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> LTやSTを利用し、情報を積極的に伝えてきた。また、面談を利用し、細かなコミュニケーションを取るよう心がけ、生徒の進路決定に役立てた。身だしなみ指導や授業を通じて、社会人に必要なモラルやマナーを身に付けさせることができた。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	